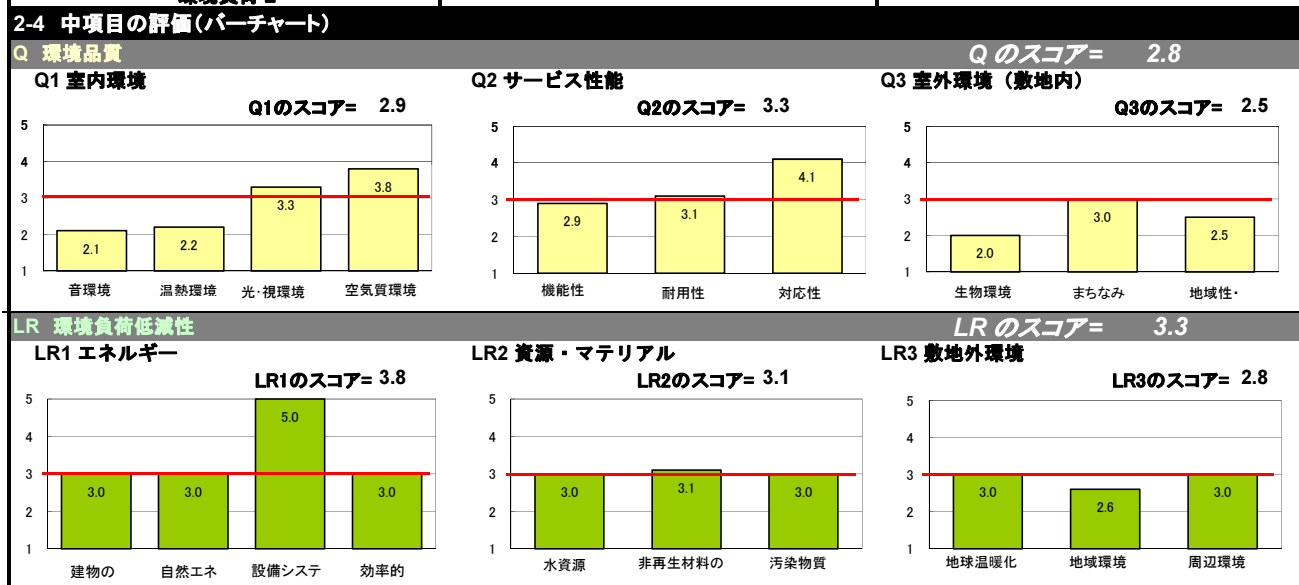
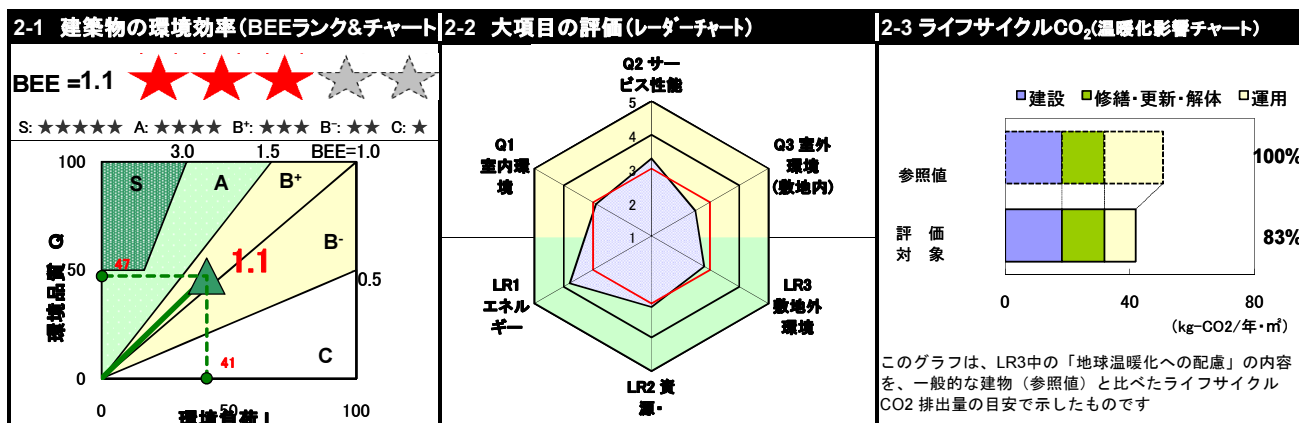


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	関西ガスメータ株式会社 上鳥羽工	階数	3	
建設地	京都市南区(上鳥羽南部地区区画)	構造	S造	
用途地域	法第22条区域(市街化区域内)、防	平均居住人員	43 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,920 時間/年	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2010年3月 予定	評価の実施日	2009年10月26日	
敷地面積	1,844 m ²	作成者	小田裕美建築設計事務所株式会社、小田裕美	
建築面積	1,288 m ²	確認日		
延床面積	3,681 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 外壁材に断熱性の高いALCを採用することにより建物の熱負荷抑制に配慮した。 また、地表部以外にも屋上緑化を設置し地域の緑化にも配慮した。		その他 0
Q1 室内環境 ほぼ全面的に対象外の建築材料を使用し、化学汚染物質による室内の空気質汚染の回避に配慮した。 喫煙ブースを設け、室内の非喫煙が煙に曝されないよう対策をとった。	Q2 サービス性能 京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例により施設整備基準に適合させるとともに、施設整備誘導基準も満たし、利用する可能性のある人に機能的な建築空間であるよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 地表部の他、屋上緑化することにより地域の緑の量の確保に配慮した。 また接道部に緑地を配し景観にも配慮した。
LR1 エネルギー 高効率照明器具の採用により照明設備に係わるエネルギーの効率化に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 一部外溝にエコマークを取得した磁器質タイルを採用することにより資源環境へ配慮した。	LR3 敷地外環境 京都市駐車場条例にて算定された必要駐車台数を設けるとともに、駐輪場も設置し代替交通手段の利用の推進に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される